

平成29年度 木更津市生涯学習推進協議会第1回会議 議事録

- 1 日 時 平成29年8月7日(月) 午後2時00分～3時30分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 会議室A2
- 3 出席者 委 員：前野一夫会長、桂啓之副会長、佐久間剛委員、古藤田憲之委員、
沢辺喜美夫委員、橋詰清委員、平本俊明委員、櫻井隆雄委員、
江口かほる委員(9名)
事務局：高澤茂夫教育長、堀切由彦教育部長、岩埜伸二教育部次長、
秋元淳生涯学習課長、池田ゆかり主幹、鈴木和代副主幹
秋川裕也事務員(7名)

4 協議事項

- (1) 平成29年度教育委員会基本方針、生涯学習の基本目標・政策・重点施策および生涯学習関係事業について
- ① 平成29年度教育委員会方針について
 - ② 平成29年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策について
 - ③ 生涯学習市民公開講座
 - ④ 生涯学習フェスティバル
 - ⑤ 生涯学習バス「まなび」

(2) その他

5 配布資料

- (1) 会議次第(資料)

6 会議の概要

(進行)

ただ今より平成29年度生涯学習推進協議会第1回会議を開催いたします。

本日の会議は委員12名中、9名の出席であり、欠席は3名でございます。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されております。本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

(進行)

それでは、はじめに前野会長よりご挨拶をお願いいたします。

(前野会長)

皆さんこんにちは。ご出席いただきありがとうございます。本日は新しく委嘱される委員さんがおります。到着次第委嘱状を交付いただきます。

さて、生涯学習は、高齢化の中で従来のやり方から変えていかなければならない時代になってきたのではないかと思います。まずは従来から行っております生涯学習、これを確実にしっかり続けることもとても重要なことです。委員の皆様には昨年引き続き、よろしく願いいたします。今日は今年度の教育委員会の方針、生涯学習の基本目標、政策など、具体的には生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスについて伺います。昨年度に引き続き継続して十分にご審議賜りまして実りのあるものにしていきたいと思っておりますのでよ

ろしくお願いいたします。

(進行)

ありがとうございました。

ただ今、櫻井さんが到着されましたので、委嘱状の交付式をさせていただきたいと思ひます。

(進行)

お名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、自席でご起立下さい。

なお、委嘱状交付につきましては、市長代理として教育長から行ひます。

委嘱状交付— 高澤教育長

介添え—堀切部長

名前読み上げ—秋元課長

* 櫻井委員から自己紹介

(進行)

ありがとうございました。以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。それでは、高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

(高澤教育長)

皆さんこんにちは。高澤でございます。今日は大変お忙しい中、各委員の皆様には第1回目の生涯学習推進協議会にご参加いただき誠にありがとうございました。

ただ今、櫻井委員に委嘱状を交付させていただきました。木更津市PTA連絡協議会の役員改選に伴い、鶴岡委員から今期新たに櫻井委員のご推薦がありましたので、委嘱をさせていただきました。皆様の任期につきましては平成30年の3月31日までとなっておりますので、櫻井委員におかれましては残任期間となりますが、よろしくお願ひいたします。また、他の委員の皆様におかれましては、2年目に入りましたので引き続きお力添えいただければと思ひます。

今年度も生涯学習バスの運行も継続し、例年、清和大学と連携し行っております市民公開講座も7月8日に開講式を行ひまして、2回目まで終了しております。また、今年本市は市制75周年を迎えますが、この後提案されます生涯学習フェスティバルも記念大会という形で開催いたします。

本日は今年度第1回目ということでございますので、教育委員会の基本方針、生涯学習の基本目標や重点施策、さらには関係する事業についてご説明をさせていただきたいと思ひます。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただければと考えております。よろしくお願ひいたします。

(進行)

それでは、議事に入りたいと思ひます。

生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願ひしたいと存じます。前野会長よろしくお願ひいたします。

(前野会長)

それでは、これより進行を務めさせていただきます。

最初に平成29年度教育委員会の基本方針、次に生涯学習の基本目標・政策・重点施策生涯学習関係事業についてです。事前に資料等は送付されておりますが、事務局から説明を受けた後、質疑の時間を設けたいと思います。それでは、説明をよろしくお願ひします。それでは、事務局より説明をお願いいたします。

－事務局説明－

教育委員会の基本方針について（堀切部長）

生涯学習の基本目標・政策・重点施策について（秋元課長）

生涯学習関係事業 市民公開講座・生涯学習バスについて（秋川事務員）

生涯学習フェスティバルについて（鈴木副主幹）

(前野会長)

ありがとうございました。それでは委員の皆さんよりご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

(橋詰委員)

サタデースクール事業というのはどんな事業ですか。

(鈴木副主幹)

サタデースクール事業は各公民館で開催しております。当初学校が週休2日になって、土曜日がお休みになったときに、子どもたちを対象にした事業として開催されることになりました。各公民館で実施している内容はそれぞれ異なりますが、公民館サークルの方や地元有識者の方にご協力いただいただき、子どもたちを対象にした体験活動などを実施しています。

(橋詰委員)

前回の会議で市民公開講座をもっと宣伝してということで、房総ファミリアにも掲載したりしていただきましたが、やはり参加者が少ない。原因はなんですか？もっと市民が興味を持つ内容でないとダメなのではないですか。高専にお願いしたらどうですか。もっと面白いことができると思います。毎回のテーマが難しいのでは。

(堀切部長)

清和大学に委託している事業ですが、学長さんも参加者が少ないことを憂慮しておられて、やはりテーマをもう少し考えなくてはいけないとおっしゃっていました。もう一つ、先ほど高専というお話がありましたが、その話の中で高専とも連携をしておりますので、例えばコマを高専の先生にやっていただくことも一つの方策と話をしておりましたので、今後検討してまいりたいと思います。

(橋詰委員)

市民会館の中ホールや福祉会館の市民ホールで実施するというのはどうですか。

(鈴木副主幹)

会場についてのご意見については承りました。

前回の会議の際に、市民公開講座についてはいろいろとご意見をいただきましたので、清和大学との打ち合わせの際も、お伝えさせていただいたところですが、前回の会議が3月末でしたので今年度の事業に反映させるには期日がございました。高専とは協定を結んでいるということもありますので、来年度に向けて検討してまいりたいと思います。

(橋詰委員)

「金鈴塚古墳」にもっとお金をかけたらどうですか。日本で有数の古墳ですが、草ぼうぼうです。あれではかわいそうです。整備してください。馬来田のいっせんぼくも大事にしてください。

(前野会長)

貴重なご意見ありがとうございました。

高専の話が出ましたが、私共は清和大学、清和短期大学と先日協定を結びました。その話もしております、2回か3回程度できればよいという話もしています。本校に宮沢賢治を専門とするような教員も着任しております、実際宮沢賢治の故郷とタイアップしながらやっている研究者です。たぶん面白い話ができると思います。

また芝山町とタイアップしております、古墳に行ってスマホをかざすと、バーチャルリアリティーで解説されるということもしています。今のお話のことも一緒にやると何かできそうな感じがします。

(古藤田委員)

1点目は図書館サービスの充実のところで、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携の強化を図り、豊富な情報資産を活用して司書によるレファレンス機能をさせ、的確な情報提供を行う、とありますが詳しいことが分かれば教えてください。2点目は木更津市史編さん事業の進捗状況について教えていただければと思います。

(桂副会長)

図書館協議会の委員としてお話いたします。図書館協議会ではいろいろ活発に意見が出されてきました。大学図書館、他の公共図書館と連携して、ITを駆使して情報提供をするようになって、以前に比べたら向上しているのではないのでしょうか。

(前野会長)

図書館の連携は年々充実してきていると思います。

(桂副会長)

図書館協議会でもネットに関連した質問をしていて、図書館もそのリクエストに応じていただいています。

(堀切部長)

市史編さんについては、文化課で準備を進めているところです。研究をしている方を中心にお願いするのですが、市民の方で、例えば公民館で古文書を研究していて興味のある方にもボランティアとして調査研究に参加していただく、というような仕組みをつくって共同という形で市史編さんができればということを考えています。

(古藤田委員)

市史編さん室の設置に向けた検討ということですか。

(堀切部長)

現在は文化課が担当していますが、将来的には市史編さん室という独立した組織でやっていければということを考えています。今担当課で協議を進めているところです。

(古藤田委員)

いつ頃になりますか。

(高澤教育長)

市史については最終的に平成42年を目標としていて、まだかなり先になります。

(前野委員)

市史編さんにつきましても、恐らく従来の冊子と同時に、電子的なものも可能性としてあるのではないのでしょうか。個人的には、木更津市には多くの文化人が疎開してきていたと聞いたことがあります。かなり有名な人が来ていたのですが、資料が散逸してしまったようです。そういうものも発掘できたら面白いです。

(桂副会長)

この基本目標、重点施策というのは、概要的な内容になるわけですね。細かくこの内容について、何をどうするという計画は生涯学習課がやる仕事ではないのですよね。各部門で検討してください、ということですね。

(秋元課長)

図書館、公民館、文化課など、それぞれで細かい事業計画を立てます。

(桂副会長)

生涯学習課だけではわからないこともあるのかと思ひまして。でも、公民館にしても図書館にしても、木P連とか子ども会などの団体とも連携はしているということですね。

団体の活動の集約をしているのが生涯学習課ですよ。

(平本委員)

先ほど、市民公開講座について話がありましたが、チラシをもう少し工夫すれば人が集まるのではないかと感じました。テーマのつけ方も。

(堀切部長)

テーマも興味を持てるような表現にしたほうがよいのではないかという意見も出ています。

(橋詰委員)

当日のとび込みもOKですか。

(秋元課長)

事務局(大学)としては、資料を作る関係があって、事前に人数を把握したいということではありますが、当日でも大丈夫です。

(沢辺委員)

サマーキャンプに参加人数が少ないのはどうしてかと。原因はどこにあるのでしょうか

(秋元課長)

今年のサマーキャンプの参加者は小学6年生から中学生の25名でした。この数字を少ないと見るかということところです。いまSNSなどが普及し、便利さを追求される中で、子どもたちが見ず知らずの人たちとキャンプをするという意欲、関心、勇気は以前に比べれば薄れているかもしれません。

親の意識も変わってきているのかとも思います。ただ、実際に参加した子どもたちは、想像したり、自分の思い通りにできない悔しさだったり、怒りだったり、いろいろな感情を経験でき、学ぶことができ、成果はあったのではないかと思います。夏休み前に開催した子ども会主催で教育委員会が共催したデイキャンプには、1日あたり100名程度が集まりました。それは小学生が対象でしたが、中学生対象のサマーキャンプは3泊4日でもありますし、条件が厳しい中で、参加にふみきるのはなかなか難しいのかもしれません。

我々ももう少し学校に積極的に呼びかけていかなければならないとは思いますが、そのような機会は今後も作りたいと思います。

子育て支援の問題ですが、公民館を中心に家庭教育学級や子育て広場など母親が集う機会を多く持つように各公民館とも工夫をしていると思います。課題は自分の近くの公民館に行かない人もいること。地域の人に自分の生活を知られたくないという人もいます。それでも社会との接触を試みるだけ良いのかもしれない。

(前野会長)

デイキャンプとサマーキャンプの日程的なことはどうなっていますか。

(池田主幹)

子ども会のデイキャンプは6月中旬、サマーキャンプは8月初旬です。

(高澤教育長)

その間にはいくつかの公民館での通学合宿などがあります。

(前野会長)

市民としては、青少年健全育成事業として、いろいろなことが見えているわけですね。

(桂副会長)

各地区の住民会議も、野外体験の機会がありますね。

(前野会長)

3泊4日という日程もあるでしょうね。

(沢辺委員)

木更津市の子ども会の組織率はどのくらいなのでしょう。

(秋川事務員)

市子連に所属している子ども会は16子ども会です。登録していない子ども会でも地域で活動している子ども会は24くらいあるという調査があります。

(橋詰委員)

親の役員のなり手が少ない。老人会も役員のなり手が少ない。

(佐久間委員)

私は公民館活動の充実、ふるさと文化の継承ということで一つ提案を申し上げます。私は中郷で生まれ育っています。間もなく中郷中学校がなくなり清川中学校に統合ということになります。そうならないためにどうしたらよいかと仲間で協議をしていたのですが、他の地域から中郷に入ってくるお嫁さんがいかに中郷の文化を理解するかということが大事だった、中郷の文化をきちんと知っていたならば、このような結果を迎えずに済んだのではないかという話も出てきました。

お嫁さんにきて、子どもができて、子どもが中郷小中学校に行くようになって、旦那さんの方はそうしたくはなくても、子どもが少なくなってきた、母親のもつ歴史観が十分でないために旦那さんも負けて、地域の文化が継承されないということがあるのではないかと思います。それを公民館活動で理解してもらえるように学級で学習してもらえればよかったと思います。生涯学習の場面から応援してほしいと思います。

それから、市史編さんは地域ごとに分冊していただければ、さらによいと思います。

(前野会長)

貴重なご意見ありがとうございました。木更津は歴史が古いのでそれぞれ地域ごとに改めて発掘すると面白いですね。

(桂副会長)

各公民館の周年事業記念誌で地域ごとの歴史を取り上げますね。

(江口委員)

私は文化協会から出ています。これから文化協会の文化祭があります。展示と民舞の部門に分かれています。写真、俳句。陶芸などから賞を選んでまたフェスティバルでも展示しております。昨年度からフェスティバルの会場で展示だけでなく、子どもたちに俳句を作ってもらおう催しを始めました。

私は、中央公民館を利用していますが、公民館の使用料について会合をもって館長を中心に各サークルの代表者が集まって話をしています。使用料を取ることは確定したのですか。

(秋元課長)

今検討しています。9月議会で条例改正案を出す予定で進めています。

(江口委員)

使用料を取るなら、公民館のために使ってもらえればいい、という意見もありましたが他は圧倒的に使用料を払いたくないという意見でした。

(秋元課長)

公民館を利用されている方にとっては、無料が理想的だと思いますし、教育委員会の職員としてもできれば無料ですっといければよいと思います。

昭和40年代から50年代にかけて、建物を作ってきてそれが老朽化したり、少子高齢化の中で人口が減少したりする中で、公民館にかけられる財源も限られてきます。これまで100%公費で賄ってきたものを、25%、実際には10数%分を利用者の方々にご協力をいただきたいということを提案させていただきます。部屋の面積に応じて、1時間当たり100円から500円の範囲内でのご負担になります。

(江口委員)

皆さん金額を心配していました。もっと高い金額を考えていました。

(秋元課長)

団体によってはある程度金額がかさむこともあるかもしれませんが、これからは部屋の使い方も考えていただく機会になるのではないかと思います。お叱りを受けるのは承知でご協力をいただきたいとお願いすることになります。ただ、自治会や民生委員などは免除と考えています。

(前野会長)

そのことについて正式に出てくるのはいつでしょうか。

(秋元課長)

9月議会で条例改正議案を上程し、実際に運用されるのは平成30年4月からになります。

(橋詰委員)

今、市内で音楽活動ができないという話を聞きますが、市民会館は今後どうなるのでしょうか。どうお考えでしょうか。

(高澤教育長)

芸術文化の振興ということで市民会館はなくてはならないのですが、これまでの市民会館大ホールは、1200人規模でしたが、その規模のホールは年間を通して活用する割合は1～2割程度です。500～700人程度の集会の方が多いわけです。新しい建物は中規模程度のホールを位置づける方向で現在市は考えていきます。

(橋詰委員)

木更津は文化という面では弱いと思います。

(前野会長)

本年、木更津高専は50周年でした。式典を行う場所がなくて結局千葉文化会館で行うことになりました。500～700収容のホールというのは案としてあるかもしれませんが、1000～1300のホールというのがないというのも事実です。東京から50分圏内に1000～1300規模のホールが圧倒的に不足しています。アクアラインを超えたところにこの規模のホールがあると間違いなく利用率は相当上がります。本当は2000規模が欲しいところです。地域の木材を使って、耐震補強もできるのではないかと思います。壊さずにできるというのもご検討いただけるかもしれません。

他にないようでしたら、予定された時間となりましたので、会議を終了したいと存じます。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれましても、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(進行)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後とも、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

それでは平成29年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。

